

日本学校音楽教育実践学会
第29回全国大会
セミナー

領域横断的な視点が 切り拓く 音楽教育の新たな世界

その2ー理性と感性の接点ー

私は12歳のころから短歌を作り続けてきました。一方で、細胞生物学の研究者でもあります。ふたつの世界は全く異なるように見えるかもしれませんが、一人の人間の中で無理なく共存するものです。理性と感性は、どのように影響を与えあうのか。同じ現象に対して、どのようなアプローチの違いが生まれるのか。異なる分野を行き来することで見えてくる、新たな可能性について考えてみたいと思います。ー永田紅

講師 永田紅氏
(歌人・細胞生物学)

日時 2024年
8月24日(土)
10:00~12:00

会場 広島女学院大学
人文館3階303講義室

参加費 2000円

お問い合わせ

日本学校音楽教育実践学会第29回全国大会実行委員会
森保 尚美 (広島女学院大学)

MAIL: jissen.hiro29@gmail.com

永田紅氏
プロフィール

歌人、細胞生物学研究者。
京都大学特任助教。細胞膜に
興味をもち、善玉コレステロ
ール産生を担う膜タンパク質
の研究を行っている。
歌集に『日輪』(現代歌人協
会賞)、『北部キャンパスの
日々』、『ぼんやりしている
うちに』、『春の顕微鏡』、
『いま二センチ』(若山牧水
賞)、エッセイ集に『家族の
歌』(共著)がある。



申込

Peatixによるオンライン決済
(<https://ongakujissen2024.peatix.com/>)

